

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 59

事務事業名	男女共同参画推進センター運営管理事業
-------	--------------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	総務部		
課名	男女いきいき推進課		
課長名	福田 純子	内線	213
担当者名	杉本 淳子	内線	54-8715

基本目標		持続可能な行財政運営と市民協働の推進
政策	060402	お互いを尊重し、誰もが活躍できる社会づくり
施策		男女共同参画の推進
関連施策		

会計	一般会計	
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	6	企画費
事業コード	160000	男女共同参画推進センター運営管理事業

事業類型	3	施設維持管理(補修)事業(義務)
個別計画	おおむら男女共同参画プラン	
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	誰(何)に対して事業を行うか 市民・登録団体		
意図	対象をどのような状態にしたいか 男女共同参画に関する事業の推進、市民グループ・団体等が行う取組みを支援するための拠点施設としてセンターの運営管理を行う。		
事業概要	意図を達成するために実施することは何か センターを利用する男女共同参画登録団体及びボランティア団体並びに一般市民の相互の交流と男女共同参画に関する情報の受発信の拠点施設としての有効利用を図る。		
事業期間	平成 13 年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営
根拠法令、要綱等	男女共同参画社会基本法、大村市男女共同参画推進センター条例		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① センター利用者数	計画値	18,000	18,000	20,000	20,000	
		実績値	16,377	19,347	16,979		
	達成度	%	91.0%	107.5%	84.9%		
	② 登録団体数	計画値	100	100	100	100	
実績値		93	93	85			
達成度	%	93.0%	93.0%	85.0%			
成果指標	① センター会議室稼働率	計画値	60.0	60.0	60.0	60.0	
		実績値	52.0	55.6	53.7		
	達成度	%	86.7%	92.7%	89.5%		
	②	計画値					
実績値							
達成度	%						

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	2,551	3,486	3,503	3,645	3,567	3,645	3,567	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	802	770	709	714	768	768	768	
一般財源	1,749	2,716	2,794	2,931	2,799	2,877	2,799	
② 人件費(千円)	5,001	2,814	1,613	1,646	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.35	0.25	0.15	0.15				
時間外勤務(時間)								
嘱託等人数(人)	1.20	0.50	0.30	0.30				
フルコスト(①+②千円)	7,552	6,300	5,116	5,291				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	あらゆる機会を通じてセンターの案内を行い、利用促進を図った。 これまで、昼間に開催していた講座を、就労中の人が受講しやすいように開催時間を検討し、「ワーク・ライフ・バランス」講座を夜に開催した。
事業が抱える問題・課題等	センターの認知がまだ不足しているため、センター活動に興味を持てるような魅力ある講座を開催し、開催時間も昼間だけでなく、就労中の人も受講しやすいような時間に設定するなど、新規利用者や新規の団体登録につなげていきたい。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	センター運営にあたっては、できる限り経費の削減に努めており、運営上必要な管理費の削減はできない。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	公民館活動とは異なり、男女共同参画推進のために設置された施設であるため、本来の目的に沿った活動のための使用料は徴収しないこととなっている。このため使用料徴収の見直しの余地はない。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	男女共同参画推進センターの認知が不足しているため、あらゆる機会を通じてセンターの案内を行い、利用促進を図る。 また、講座、イベント等を通じて、団体の新規登録を呼びかけている。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	利用者の増加は男女共同参画意識の浸透に繋がる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。